



Interview

検討した結果、「住宅性能表示制度」を利用。

できることは自分で。図面をひいたり、調べたり。

この地域は手頃な土地がなく値段も高い！「いい場所があればいつか家を建てたい」とずっと思っていました。知人が建売住宅を買うというので見にいったり、昔、私が勤めていた会社！この場所なら手に入るといふ試算もできたので、購入を検討し始めました。ただ通常は4人家族仕様の設計。我が家は5人家族なので、時間とコストを削減するために自分で図面を引きました。かっていた会社なので工法は知っていたし、構造面などへの不安

はなかったですね。いずれ親と同居することになるかもしれないので、売却時にも考え「住宅性能表示制度」を利用することにしました。

ポイント

住宅性能の評価にはコストがかかります。(評価料金は評価機関が独自に設定しています)ですが評価内容に応じて地震保険料の優遇を受けられるような金銭面メリットや、「フラット35」の手続きが簡単になるなど費用にかかわるメリットもあります。

暖かい。明るい。静か。しかも省エネなんて嬉しい。

北側の土地なので採光には工夫しました。思った以上に明るいでしょう。日中のリビングは快適そのもの。電気をつけず暖房を入れなくても、晴れていれば十分暖かいです。この地域は夏暑く、冬寒い気候なので、以前の家は結露が凍ったり(笑)。今はそんなこと一切ありません。夏はどのように過ごせるのか今から楽しみです。オール電化の家はお掃除も楽。照明はすべてLEDにしました。熱が出ないからほこりも虫も寄ってきません。深夜電力で蓄熱し、太陽光で発電して余剰電気を売っています。だからお天気だと機嫌がよく



Interview

「住宅性能評価」の意義をもっと知ってもらいたい。

土地の特性を見極めて家づくりをしたい。

この土地は妻の実家があった場所。そこを建て替える選択をしました。マンションへの住み替え、リフォームなど、さまざまな選択肢の中から最善を選びました。地盤が弱い土地柄なので「から探すと納得できる土地を見つけるのが困難。ここなら地盤が強いこともわかっていたので余計な心配はいりませんから。あと、風が強いんですよ。ここは少し高台だからいいけれど、下の方は吹きさらしですからね。耐震と耐風にはちょっと気をつけてもらいました。

必要な部分に効果的な対策を。全部屋南向きにしましたので、日当たりは十分。これから住んでみないとわからないですが、日中は暖かいです。1階は母がくつろげるように、母の部屋とリビング、畳の部屋を設けました。バリアフリー仕様で歩きやすく、つまずきにくいようにしています。高齢者対策の項目では等級1となっていますが、これは階段の曲がりも多くはないといけなかったからなんです。でも1階で過ごすうえで問題ないかなと思っています。

ポイント

「高齢者等への配慮」における評価は等級1ですが、バリアフリー化による、高齢者等への配慮も行っていきます。

住まいにとって必要不可欠な制度。

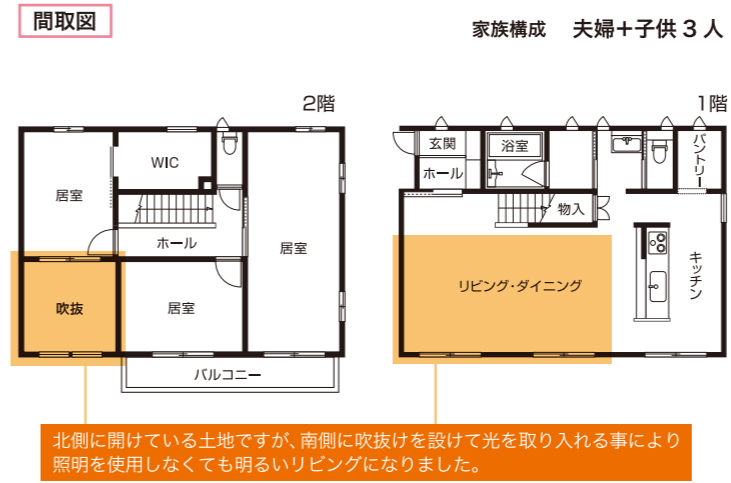
私は仕事柄、「住宅性能評価」のことは熟知している方だと思います。普段は住宅を検査する立場なので、この評価が持

なっちゃう(笑)。

ガラスの性能がいいのか、子供が庭でサッカーをしている時も全然うるさくない。静かなものです。趣味のギターはしばらく弾いてないけれど、そろそろ再開してみようかな。

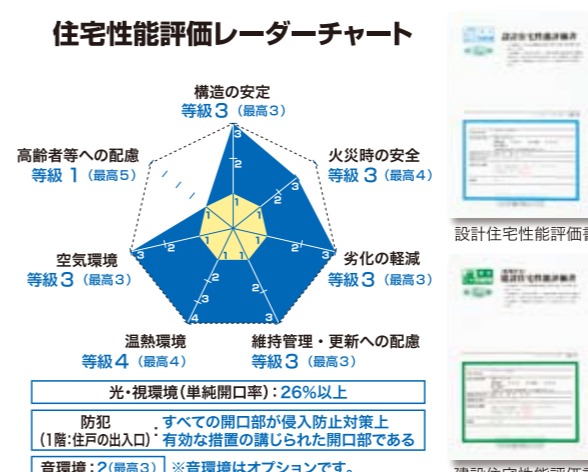
ポイント

温熱環境に関する「省エネルギー対策等級」は、最高の等級4。夏は涼しく、冬は暖かく効率的に暮らせるでしょう。また、音環境に関すること(オプション)では、優れた空気伝搬音の遮断性能が確保されている結果が出ました。音漏れがない騒音が聞こえにくい家といえます。



建設住宅性能評価書を取得するためには、現場検査は3階建以下の住宅の場合、原則として4回現場に立ち入って行われます。

ポイント



住宅性能評価レーダーチャート

